

市長との約束 2016



私は、「宝の都（くに）・大崎」の実現のため、関係部局との連携のもと、特に下記の事項について、目標達成に向けて取り組むことを伊藤康志市長と約束します。

民生部長

鹿野 順子

約束内容	高齢者福祉の充実
達成目標	大崎市地域包括ケアシステムの構築に向けて、新しい総合事業の取り組みを強化します。 ～目標：2025年までに高齢者人口の10%が介護予防に参加します～ ①介護予防事業 ②在宅医療・介護連携推進事業 ③認知症総合支援事業 ④生活支援体制整備事業
達成度	A 概ね目標どおり達成（80～100%） ★★★☆
達成状況	平成29年4月に「地域包括ケア推進室」を設置し、大崎市版の地域包括ケアシステムの構築に向けて、更なる事業展開を図る体制が整った。 介護予防・在宅医療の連携に向け、大崎市医師会や多職種関係者との連携の基、新たに「在宅医療・介護連携支援センター」を設置するなど着実に事業の推進が図られた。
今後の課題 解決策	今後、地域住民の方が抱える様々な分野での課題に対し、包括的支援体制が求められる。全庁体制、関係機関との更な連携が重要である。

約束内容	子ども・子育て支援策の充実
達成目標	①保育所待機児童ゼロの早期実現を目指します。 ～平成29年度当初の待機児童ゼロ～ ②子どもの虫歯有病率の減少を図ります。 ～目指せ！生涯歯科保健の土台作り～
達成度	B 達成目標を下回る（50%～80%） ★★★☆
達成状況	①保育所の定員拡大を図ったが、待機児童ゼロとはならなかった。 ②新規に「妊婦歯科健康診査事業」に取り組み、母親をキーマンに歯科口腔保健の推進を図る。
今後の課題 解決策	待機児童対策と併せ、保育士確保対策に力を入れる必要がある。

約束内容	救急医療体制の充実
達成目標	夜間救急センターの運営について、今後の方向性、あるべき姿を検討します。 ～中長期的な視点を見据えた、夜間救急センターの方針をまとめます～
達成度	B 達成目標を下回る（50%～80%） ★★★☆☆
達成状況	今年度は、「安定したセンター運営の継続を図るための方策」を提案するに止まり、今後の方向性（方針）を示すまでに至らなかった。
今後の課題解決策	今後とも、運営委員会や市民病院と協議しながら、救急医療体制の在り方を検討する必要がある。

約束内容	業務の効率化と職員の適正配置
達成目標	各部門における専門職等の適正配置により、業務の充実を図ります。 ～保健師等の効率的な配置体制を検討します～ ～社会福祉事務所の現業を行う職員（CW）の適正配置に努めます～
達成度	B 達成目標を下回る（50%～80%） ★★★☆☆
達成状況	専門職等の配置については、理解をいただきながら配置体制を図ってきているが、まだ十分とは言えない。
今後の課題解決策	各部所に核となる人材を配置し、効率的・かつ事業強化が図れるように、職員の意識改革を促す体制づくりが必要である。